

援農 &
仁木農園
講演会

8/21 土
10:00 ~ 16:30

参加無料

援農：10：00～12：00
講演：13：30～16：30
※講演のみのご参加も承ります。

戦後
後
幻
想

せんごげんそう

まほろば主人
宮下周平講演会

ところ：まほろば自然農園 仁木農場
余市郡仁木町西町 11 丁目 121 番地

定員：30 名程度

※直接会場までお越しください。
(先着 12 名まで、まほろば本店より送迎あり)

お申込：まほろば本店

TEL：011-665-6624

仁木の畑で、
未来を語り合
いましょう！

【注意事項】

1. 体調の悪い方は参加をお控えください。
2. 援農に参加される方は、『援農のお誘い 8 月号』をご参照し持ち物などご確認下さい。

新企画！

時代は変わる！
時代を変える！

宮下周平 「戦後幻想」 講演会 in 納屋

田舎に帰ろう！

まほろば社長 大橋 和則

仁木町まほろば自然農園の納屋で会長の講演会をします。

全く新しい試みです。

今迄は人が集まり易い場所で講演会を開くのが当たり前でしたが、今回は敢えて田舎に来て頂こうと考えました。

コロナ禍の中、街中で人を集め開催するとなれば、人数制限だの、コロナ対策だの、と余計な心配をしなくてははいけません。

そこで、今年の冬に豪雪で倒壊してしまった大型ハウス跡に建てた木造の納屋が、ちょうど講演会をするにふさわしい環境ではないかと思い立ちました。

建物の中から外を見ると、乾いた赤茶けた土と植物の緑、奥には天狗岳、上空には深い青色が切り絵の様に見える風景が、目に飛び込んできます。後ろには函館本線を列車がガタゴトと程よく音を鳴らし過ぎ去っていきます。

都会の生き苦しい環境とは真逆の中で、これからどう生きるかを考えながら宮下会長の講演会を聞いてみませんか？

65歳にして自ら土に還ると言い、仁木町に新規就農して5年。机上の空論ではなく、土に触れ、植物と対話しながら人として生きる原点に立ち戻り、汗水垂らし、命を削り、私財を投げ打って農業

を実践。そこから発する言葉には、人を納得させる力が有ると思います。

総業37周年記念で発行させて頂きました『コロナと生きる（総集編）』は、大変ご好評頂き、4500部が捌け、2000部を増刷しました。社会貢献と思い無料配布させて頂いておりますが、このままでは日本に明るい未来は無く危機的状況に陥るのではないかとの思いからです。お陰様で、コロナ禍で生き方を模索する皆様から多くのご支持を頂き、安堵しています。

さて、今回のテーマは「戦後幻想」です。新しい情報満載で今後の指針にして頂けましたら幸いです。

ちょうど援農の日ですので、午前中は畑で汗を流し、昼から講演を聞くのも良し、講演会だけでも大丈夫です。

基本的にはご自分で現地集合ですが、会社から第一便、朝9時に援農者様に12人乗車可能です。第2便は講演会のみで12時に4人乗車可能です。

JRで行かれる方は仁木駅までお迎えに伺います。
札幌 11:48 発快速エアポート⇒小樽駅しかりべつで 倶知安行に乗り換え⇒然別駅（仁木の次の駅）13:11 着です。

お迎えに向かう車の都合が御座いますので事前にご連絡願います。

